

# 交通網、雇用確保で意見

県市議会  
議長会  
国会議員と懇談会

県市議会議長会（会長・加藤賢一山形市議会議長）は19日、山形市の山形グランドホテルで県関係国会議員との懇談会を開き、道路交通網の整備や鶴岡市の半導体工場の生産継続と雇用確保などについて意見を交わした。写真。

県内市議会の正副議長と遠藤利明、近藤洋介、鈴木憲和、阿部寿一の4衆院議員、岸宏一、大沼瑞穂の両参院議員が出席した。

東北中央自動車道や日本海東北自動車道などの道路交通網整備促進に関し、国会議員側は「山形だけでなく

く隣県をやる気にさせて、協力態勢を築くことが重要だ」「過疎化防止という点からも道路は整備しなければならぬ。『遅れているから整備が必要だ』と訴えていく」と語った。

2015年度での閉鎖・売却が予定されているルネサスエレクトロニクスの旧東工場（現ルネサスセミコンダクタマニユファクチュアリング鶴岡工場）の生産継続と雇用確保へ協力を求める要請もあった。これに対して国会議員側は「半導体の工場が全て韓国や台湾に行ってしまう。国としても対策を考えなければならぬ」「元気な地元中小企業の育成にも本気で取り組むべきだ」などと応じた。

議長会にはほかに、改正耐震改修促進法の施行により大型宿泊施設などが耐震診断・耐震改修を行う際の国の支援制度拡充や、豪雨による県内被害への対応を求めた。

